

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 准教授 伊藤幸弘

取組状況	
教育	<p>1. 特別研究および卒業研究の効率的な教育指導 所属学生の人数がこれまでに最も多かった。そこで、各学年に持たせるべき素養やレベルに注視し、各学生の個性や能力を的確に捉えて効率的な研究指導を心掛けたことにより、例年よりも質の高い研究指導が行え、多くの成果を得ることができた。その中での象徴的な成果の一つとして、専攻科の学生に学会で発表させることができた。</p> <p>2. 柔道部の指導および運営 柔道部関信越大会の男子団体戦で優勝し、全国大会に出場した。全国大会でも予選リーグで1勝し、学生の実力が昨年度よりも着実に向上していることを実感した。また、教職員の方々の協力を得て関信越大会を盛況に運営することができた。</p>
研究	<p>1. 計測学についての成果を学会で発表 大口径シリコンウェーハの形状測定におけるセンサ原理に起因する誤差, 伊藤幸弘, 2018年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集, (2018.09), pp.610-611</p> <p>2. 加工学についての成果を学会で発表 電解液ジェット加工による絶縁部加工時の現象観察, 第26回精密工学会学生会員卒業研究発表講演会論文集, (2019.03), pp.3-4</p> <p>3. 特定課題研究の推進 特定課題研究に採択されていたテーマに則り, 大口径シリコンウェーハの形状測定における非接触支持の安定性についての研究に取り組み, 気体軸受の形状とウェーハ振動の関係を調査する実験手法を確立した。</p>
社会貢献	<p>1. 平成30年度八潮学園ものづくり教育推進事業 2. 精密工学会校閲委員会協力委員 3. 東京都職業能力開発協会技能検定委員 4. 日本人事試験研究センター試験委員 5. 平成30年度若手技術者支援講座</p>